

生活

➔ 1・2年生 | 「つくろう 遊ぼう」

牛乳パックを使って、つくって遊べるものづくり

～ものづくりの楽しさをクラスみんなが経験できる活動を通して～

1. はじめに

教師は「できた!」という子どもの笑顔が見たいもの。「またおもしろいことを考えよう」、「次はどんなことをしていこうか」と考えます。今回は、子どもが給食で飲む 200mL の牛乳パックを使って、「つくって遊べるものづくり」を紹介します。

牛乳パックのよさは、適度な厚さ、折り曲げる線がある、材料が手に入りやすいなどいくつかあります。指先が自在に使えるようになることを目指しながら、ものづくりを行います。

2. シンバル人形 (200 mL × 1)

持ち手を左右に動かすと手をたたくようにペットボトルのキャップが合わさって、まるでシンバルのように音を鳴らすかわいい人形です。

- ① 牛乳パックの底を切り取り、半分につぶして平らにし、胴体の部分を切り取る。
- ② 顔をかく。
- ③ 腕になる部分にキャップをつける。
- ④ 胴体の余りの部分を使って耳をつくり、セロテープではる。
- ⑤ 持ち手のテープをつける。



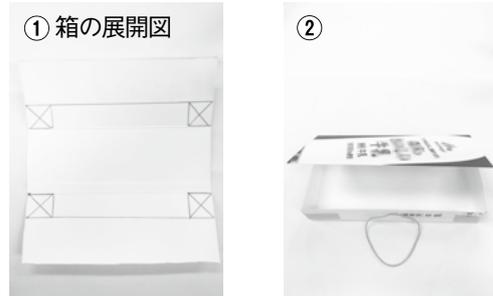
持ち手を左右に動かすと、③でつけたキャップ同士が合わさる

3. びっくり箱 (1L × 1、200mL × 6)

開けてびっくり!へびのように長くとび出るか、花火のように次々ととび出るのは工夫次第。ゴムの仕組みを利用したびっくりおもちゃです。

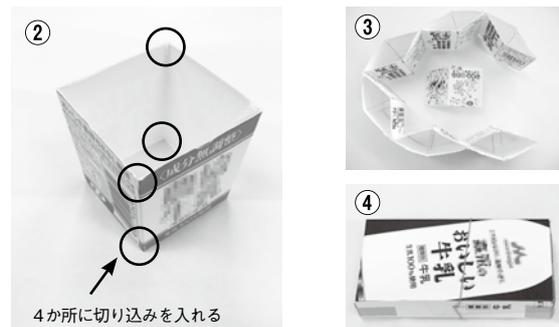
<箱をつくる (1L × 1本)>

- ① 1Lの牛乳パックを平らに開く。折り目を利用してしながら、箱の形、上面・側面の2面からなるふたの形の展開図をかき、切り取ってセロテープで貼り合わせて箱をつくる。
- ② 箱の側面にホッチキスでゴムをつける。



<びっくり箱の中身をつくる (200mL × 6本)>

- ① 牛乳パックの上部、底を切り取り、トンネル状の箱をいくつか準備する。
- ② ゴムを通すための切り込みを4か所入れ、ゴムを通す。
- ③ ゴムを通してない辺をセロテープでつける。
- ④ 平らに重ねて箱の中に入れる。箱の側面につけたゴムで、箱のふたとめる。



4か所に切り込みを入れる